

☆☆



横浜市立芹が谷小学校

令和6年 5月学校便り

せりがやだより

☆☆

「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」

校長 熊谷 眞理子

教室から、子どもたちの元気な声が聞こえてきます。令和6年度が始まり、3週間が経過しました。進級して新しい課題に挑戦しようと意欲的な子どもたちの姿がみられます。

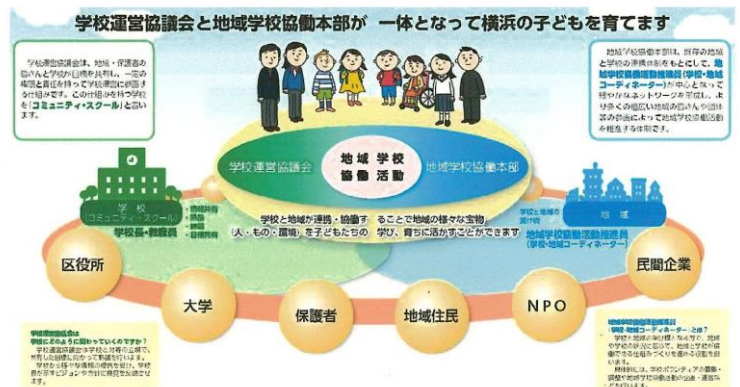
さて、令和2年の学習指導要領の改訂により、「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る」という概念を学校と社会が共有し、社会と連携・協働しながら、未来の作り手となるために必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現が重視されています。

横浜市においても、横浜の教育が目指す人づくり「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」を実現するために、地域と学校の連携・協働体制を整備し、地域学校協働活動を推進していくことを大切にしています。「地域学校協働活動」とは、地域、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもの学びや成長を見守るとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動になります。「地域学校協働活動」の具体的な活動は、学習支援（学習補助や読み聞かせ等）、登下校中や校外学習時の見守り、学校図書館の整備等です。活動を推進していく中で、地域学校協働活動推進員を委嘱することになりますが、横浜市では、「学校・地域コーディネーター」という名称で活動しています。学校・地域コーディネーターは、地域や学校の実情に応じた地域学校協働活動の企画・立案、学校や地域住民、企業・団体・機関等の関係者との連絡・調整をし、さらに地域ボランティアの募集・確保、地域学校協働本部の事務処理、地域住民への情報提供・助言・活動推進等を行っています。本校で実施している「放課後学習」は、地域学校協働活動の一つです。

これからの社会において、子どもたちの教育は、学校だけで行うのではなく、地域と学校が学校教育目標を共有して、一体となって児童の成長を育んでいくことが、ますます重要になります。

目標やビジョンを共有し、地域の特色生かした学校づくりを、今後も進めていきたいと考えています。

ご理解とご協力を、どうぞよろしく
お願いいたします。



引用：「地域学校協働活動」の推進に向けて
横浜市教育委員会事務局 令和5年6月

ともかかや 共にチャレンジ みんな輝け!